

「働き方改革」の推進に向けたトップメッセージ

沖縄県の失業率が年々改善されている一方、離職率が高く、人手不足であるとの報告もあります。経済のグローバル化が進み、厳しい経営環境に置かれた県内企業も生き残りを掛けた懸命の努力が為されています。しかし、過度な重責の故に、社員が休暇を取りにくい企業風土では、離職者が多くなり、一人当たりの業務負荷が益々増加する悪いスパイラルに落ち込んでいきます。

職場における生産性向上を通して生まれた時間を活用することにより、経営者としても社員のワーク・ライフ・バランスへの配慮が求められております。企業が良き社会形成に貢献するためにも、長時間労働の抑制、有給休暇取得の促進、育児・介護への理解を深くする等の意識の改革が今大切です。

公益社団法人 沖縄県工業連合会

会 長 呉屋 守章